

学都屋台食談

第3回

金沢で過ごす学生生活の意義や仕事観・人生観を、石川県に拠点を構える企業経営者や大学学長らが講師となり、講師の経験をもとに学生と語る「学都屋台食談」が11月10日から12月2日にかけて、金沢市の片町中央味食街で開催されました。2006年から今年で12年目を迎え、講師と県内の大学に通う学生が和やかに繰り広げた食談で、講師が学生に熱く語られたメッセージを紹介します。第3回は苗加充彦・苗加不動産代表取締役。



のうか不動産
NOKA ESTATE Co., Ltd.

アイデアを形にする中で人は大きく成長できる

のうか不動産では、学生の入居者向けに大学と学生街をつなぐ無料バスを運行したり、朝ご飯をしっかりと食べ、勉強にも使える場所としてカフェをオープンしたりと、多彩な取り組みに力を入れています。今年に入居者に呼びかけてマラソン大会にも参加しましたし、学生が成人や卒業を迎えた時に飲んでもらえるよう、オリジナルの日本酒作りも進めています。

実は、これらの事業やイベントは全て、社員が発案したものです。入社間もない若手が考えたアイデアも少なくなく、雑談から始まった企画もありますが、社員の熱意が実現できるように、私も全力で応援しています。

ただ、実践していく過程は、あくまでも社員に任せています。なぜなら、企画を具体的に形にいくためには、新たな分野の勉強や念入りな準備が不可欠で、その経験一つひとつが大きな成長につながるからです。海外旅行に出かけたり、人に会うたりするなど、ちょっとしたことからも構いません。学生の皆さんも、今のうちからいろいろな経験を積み重ねていってほしいと思います。

「やっておけばよかった」そんな後悔はしたくない

新しいことに挑むわけですから、うまくいかない時もあります。実際、当社も手を引かざるを得なくなった事業がいくつもありました。失敗すれば会社としても損害はありますし、先頭で推進してきた社員にとっても非常にづらい経験となります。

できるならば、失敗はだれも避けたいものです。しかし、失敗を恐れるあまり、何もしないのは最も注意しなければなりません。私自身、若いころから「やっておけばよかった」と後悔することだけはしなないと決めていました。数え切れないほど失敗もしました。それでもいいんです。失敗から学ぶことはたくさんあります。最低でも話のネタの一つにはなるでしょう(笑)。

仕事でも、趣味でも、「自分には向いていな

いから」と、新しいことを始めない人がいます。何もしなければ、傷つかないかもしれませんが、人に語れる失敗談の一つもできません。それは本当にもったいない。失敗を恐れず、何事にもどんどん挑戦してください。

しっかりとした基本がないと始まらない

一方で、基本もおろそかにしてはいけません。私たちの仕事で言えば、その一つが「宅地建物取引士」の資格です。不動産業では業務に従事する5人に1人がこの資格を持つていなければならないのですが、のうか不動産では、入社3年以内に取得するよう、徹底的に指導しています。勤務時間内に勉強会も行い、その取得率は9割以上に達しています。

ここまで口ずさばく資格取得を促す理由は、仕事としてお客様と接するからにはその道のプロでなければならぬと思うからです。車のハンドルを握る時に運転免許証が欠かせないと同様、宅地建物取引士は不動産業で働く上で不可欠なベースだと考えています。

今日、一緒に楽しい時間を過ごした学生の皆さんは、エンジンや食品メーカー、観光を通じた地域づくりなど、うれしいことに、一人ひとりが明確な目標を持っていました。それぞれの道で輝くためには、ベースとなる技術や知識をしっかりと身につけることが第一歩。基本が身につけているからこそ、応用となるチャレンジもできるのです。



講師

株式会社 苗加不動産
代表取締役

苗加 充彦氏

のうか・みつひこ

1969年石川県金沢市生まれ。90年苗加不動産入社。2002年専務取締役就任。07年より現職。